



2013・6・11

第172号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

9条・96条改憲許さない世論確かに

「九条の会」事務局主催学習会

「九条の会」事務局は6月9日、「第2次安部政権の改憲に立ち向かう」との学習会を開き、約200人が参加しました。

学習会では、イラク派兵違憲訴訟弁護団の川口創事務局長が『立憲主義の破壊』に抗う」と題して講演。イラク派兵違憲訴訟の経過や意義を語り、自民党の「日本国憲法改正草案」や「国家安全保障基本法法案」を批判し、世界の流れは軍事力によらない平和をめざしつつあることを強調しました。

続いて山内敏弘一橋大学名誉教授が「憲法9条と96条改悪論」と題して講演。安倍内閣が96条改憲先行論をうちだしたのは9条改憲より広い支持が得られると考えたからだ、と指摘し、「世論は9条改憲にも96条改憲にも反対が多数」と指摘し、「この流れをさらに確かなものにしていくことが大切と強調しました。

両氏の講演にたいしては参加者から活発な質問もいただきました。

なお講演内容は後日、ブックレットとして刊行されることになっています。

〈寄せられた意見・感想から〉

▼私にできる防御活動をしていきたい。家族や私の周り大切な方たちや、国を守っていきたい。何ができるか具体的なことがあるのか教えてください。戦っていきたい！誰かを死に至らしめることが起きてはならない。(30代・女)

▼9条、96条を改悪して立憲主義をこわす。その先にどんな国、どのような国民の幸福が安倍さんに見えているのか。

私はふつうの主婦ですが、どのようにして「九条の会」の活動をしていったらいいのでしょうか(家庭内では子どもたちに語っていますが…)。(50代・女)

▼九条の会の活動をしていて、素朴に疑問を感じるのですが、改憲をして戦争のできる国をつくりたいと考えている自民党は、単に右翼思考の集団なのでしょうか。ウソやまやかしまで使って改憲しようとする本当の理由が知りたいです。(60代・女)

九州ブロック交流集会開く

第2回「九条の会・九州ブロック交流集

会」が6月8日、大分県別府市で開かれ、九州の7県から約80人参加しました。

交流集会では地元・日出生から「日米合同演習と住民の闘い」についての特別報告があり、「九条の会」事務局員の川村俊夫さんが「九条の会」よびかけ人の発表した「九条の会のみなさんへ」を中心にすえた報告をおこないました。また歓迎の意味を込めて地元APU（アジア太平洋大学）学生合唱グループが平和の歌声を披露しました。

〈創意ある活動を各地で展開〉

交流では各県の代表1人ずつがそれぞれの活動を報告しました。

そのなかで共通して報告されたのは、各県とも自民党改憲案を含め、系統的学習運動にとりくんでいることです。なかでも鹿児島県では2月に1回のマラソン憲法講座に取り組んでいること、熊本では「1万人学習運動」を提起しさまざまな課題と憲法の学習をすすめていること、佐賀では老人会と提携して踊りなどをしながら9条の話をしていることなどが報告されました。

第2次安倍内閣誕生後、積極的に地域に出る活動も各地で展開されています。宮崎県延岡の会は市民共同センターに加入し4万人を相手にしたパレードに旗をもって参加していることや七夕まつりには会の店舗を出しています。長崎市では毎年夏にアーケード街で大規模な写真展とコーラスや僧侶の説法、戦争体験の話などを行っていること、地元大分県臼杵の「会」からは、APUグループの協力を得て「歌声喫茶9」を開き、地域に学校の先生が多いことから、昼は子どもを中心に、夜は大人を対象につどいを開いていることなどが報告されました。

梅原猛さんの「思うままに」

「九条の会」よびかけ人の梅原猛さんが5月27日付「東京新聞」（夕刊）の「思うままこ」欄に一文を寄せています。

梅原さんはまず、「改憲論議が盛んであるが、私は、必ずしも政治的意見が一致しない加藤周一氏や井上ひさし氏らとともに『九条の会』の呼びかけ人に名を連ねたほどの頑固な護憲論者である」と自己紹介。そのうえで、「私はほぼ自民党を支持し続けてきたが、その自民党が憲法9条を変えろとは、長年の友人に裏切られたような気持ちである」と言います。

そして、「憲法9条には、あの3百万人の日本国民及び約2千万人のアジア諸国民の命を奪った戦争に対する痛烈な反省と平和への熱い願いが込められているのでなかろうか」と指摘し、「私は徴兵を受けて軍隊に入り、戦争というものがいかに残虐なものであるかを身をもって知った最後の世代である」ことを紹介し、「おそらくぼけ老人の錯覚であろうが、自信ありげに颯爽（さっそう）と政治を執る人気の高い安倍首相の姿が、かつての近衛首相の姿と重なって見える」と結んでいます。

福岡県からは毎月9日を「9条の日」としてさまざまな取り組みをしているが、県内の寺院・教会にいっせいに申し入れして去年は100近くの寺院・教会の鐘が鳴らされたとの報告もありました。

交流は夜の懇親会の中でも続けられ、大いに力を得た参加者は、来年は熊本県で交流集会を開くことを確認しあいました。